



全国から教師・父母1万人がつどう「憲法・教育基本法改悪ゆるすな!
子どもと教育の未来をひらく3・26全国大集会」東京・有明コロシアム



No.371

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

問われる日本の戦争責任

ことしは、第二次世界大戦終結と治安維持法廃止60年、そして被爆60年、さらにバンドン会議50年とベトナム戦争終結30年など、世界平和確立と核兵器廃絶をめざす人類の巨大な歴史の重要な節目の年です。この流れに逆らう米・ブッシュ政権のイラク侵略戦争は孤立化を深め、破綻にひんしています。

ところで、小泉首相はジャカルタでのA・A首脳会議で、十年前の「村山談話」をくり返して「反省」と「おわび」を述べましたが、同日、閣僚を含む八十人の国会議員（自民・民主等）が集団で「靖国参拝」を敢えてしました。また政府はすでに、侵略戦争美化の「新しい歴史教科書」を検定合格させ、その宣伝と採択のため事実上肩入れをしています。

いま、日本の戦争責任が問われているのは、外ならぬ「靖国」「教科書」問題です。中国・韓国はじめアジア諸国の憤激、世界中のきびしい批判も当然のことです。

あの侵略戦争に抗して、苦難にひるまなかつた先達たちに学びつつ、平和・民主主義を守る私たちのたたかいは、「9条の会」の運動とともに、人類の理想―恒久平和をめざす巨大な足どりと完全に同一歩調のたたかいです。

主 な 記 事

全国大会めざし会員拡大に総力を	2
活躍する上甲まち子さん	3
教科書検定と治安維持法の復活/松田一男	4
顕彰碑/東京葛飾区・中島辰猪の碑	5
時の焦点/NPT再検討会議	5
抵抗の群像/兇刃に倒れた村瀬清一	6
同盟歌壇/碓田のぼる選	7
書棚/『戦争違法化の時代と憲法9条』川村俊夫著	7

七月全国大会めざし 一万六千人会員拡大に総力を

中央本部事務局長 斎藤邦雄

三月に開かれる中央常任理事会は、五月十日の国会請願後、七月九日、十日の第三二回全国大会までの二カ月間、同盟会員の拡大に全力をあげ、あわせて本部・支部の体制整備に力をつくすことを決定しました。

いま、同盟の会員拡大は、同盟運動の広範な国民的広がりをくわていく上でも、各本部支部の財政力を強化していく上でも、焦眉の課題となっています。

正しい歴史認識広める先頭にこの一カ月、険悪な様相を呈した日中間の国際問題も、かつての天皇制政府が、治安維持法弾圧をテコに、一千万人を越える中国人民を虐殺した侵略戦争を日本政府が真剣に反省せず、靖国参拝をくり返し、侵略美化の歴史教科書を

検定合格とし、歴史認識で中国や朝鮮人民の感情を逆なでする態度をとってきたことに根本原因があることは明らかです。

正しい歴史認識を広範な国民の中に広げてゆく語り部と宣伝家は、まさにわが同盟員であり、いまこそ同盟出番のときです。

前進が始まった会員拡大

本紙四月号で紹介したとおり、大阪では、この八カ月間に二〇〇名の新会員を拡大し、死亡、退会者を差し引いても純増一四八名の成果をあげ、新しく泉南地域支部を誕生させました。

岐阜では、年末の宿願である、五〇〇の会員で原本部事務所を「のろーガン」で女性部と各支部が張り、三カ月余りで四一人の会員拡大の成果をあげました。

福岡大牟田支部は、この二年間に二人から六〇人に拡大し、上甲まち子を囲む会、三池闘争記念集会、憲法記念日講演会などを成功させつつ、十一月総会までに一〇〇名の支部に発展させる計画をすすめています。

兵庫の或る女性会員は、この二年間で四五人(毎月一人)の会員をふやしました。

和歌山は拡大月間で一五人、秋田支部で一〇名、香川で七名など前進が始まっています。

会員拡大目標の達成を

いま必要なことは、全都道府県本部と支部が拡大目標をやりぬく決意とその体制をつくることです。

大阪府本部の塩田事務局長は「署名をお願いするように気軽に同盟への入会を訴えれば必ずこたえてくれます」と確信をもつて語っています。

署名に協力してくれた人びとに、多喜二祭、三・一五弾圧記念集会、山宣祭など感動的な顕彰活動に参加した人びとに入会を訴え、同盟内に会員拡大の新風をまきおこしましょう。



都の「日の丸」「君が代」の理不尽な強制に対する素朴な疑問から発足した「学校に自由の風」の市民団体が二万七百七十筆の署名を集めて陳情したが、都議会文教委員会で自民、公明、民主の反対で否決された。自民党の議員は「都教委のやり方は国際的な常識だ」とヤジ。「そうだろうか」 3月31日外国特派員協会で見つけた。記者達は驚き続々と質問が出た、翌日以降、ジャパントタイムス・AP通信始め各紙に報道された。「日本の民主主義は形ばかりだという実感がもともとあったが、今度という今度は驚いた」(イギリス)

「自分の子どもはそういう学校には入れない。台無しにされてしまう」(イタリア) それに引き替え日本のマスコミはどうなっているのか、「赤旗」の読者以外にはこの常軌を逸した都教育現場の実態が見えてこない。そのようなかわずかに印象的だったのは、NHKの「国旗国歌 卒業式で何が起きているか」放映。(倉)

同盟第32回全国大会

とき 7月9日(土) 13時~10日(日) 12時
ところ 東京・全労連会館

活躍する

上甲まち子さん

「真珠の首飾り」上演



初演から85回上演。舞台の最後の八年目になる。日本国は一度も戦争をしないうちに思っています、との決意で話を選びました。同盟大牟田支部からも多数参加しました。

「真珠の首飾り」は、わたしをほめてください。まだまだ役に立ちます」といふせりふがいつまでも語れるようにと思っています、との決意で話を選びました。同盟大牟田支部からも多数参加しました。

ムス・三木作・出演) 青年劇場が六月に全国公演を行います。劇中でペアーテ・シロタ・ゴードンを演ずるのは上甲まち子さん。(父・上甲米太郎は戦前朝鮮で治安維持法で検挙された小学校長)

上甲さんは去る四月十日に開かれた大牟田市での「上甲まち子さんを囲む会」。「ジェームス・三木さんの「真珠の首飾り」をみる会」が呼びかけた集会(約六〇名)で、大牟田市の出身で治維法犠牲者の娘として「憲法九条を守り抜き、再び戦争と暗黒政治を許さない」決意を語りつつ、「平和への願い」をつなぐ全国上演の意義を訴えました。

「真珠の首飾り」は一九九八年

公演の主な日程

- 6月10日(金) 大牟田・大牟田文芸会館
- 6月17日(金) 18日(土) 熊本・熊本県立劇場
- 6月28日(火) 29日(水) 福岡・ももちパレス
- 7月9日(土) 大阪・クレオ大阪中央
- 7月18日(月) 浜松・はまホール
- 7月21日(木) 千葉・千葉市民会館
- 7月23日(土) 高崎・高崎市文化会館

『治安維持法と現代』9号

「60周年」にふさわしい企画学習を呼びかける内容

「終戦60周年・治安維持法廃止60周年記念号」と銘打った「治安維持法と現代」2005年春季号が発売されました。

浜林論文が好テキスト

浜林正夫氏の「治安維持法撤廃六〇周年によせて」は、今日の情勢のもとで「もう一度治安維持法をふりかえり、その持つ重い意味と教訓を考え直す」意義を問い、明治以来の治安体制の変遷を詳述。現在勢いを増している改憲阻止運動に展望を示しています。

増本一彦弁護士の横浜事件の再審開始の決定判決についての論考は同盟運動の正統性に確信を与えます。判決資料全文掲載。

治維法下の拷問を告発

近江谷昭二副会長の「治安維持法弾圧と日本の拷問史」は、治安維持法による拷問の残酷さをリアルに告発。七氏による犠牲者の生涯の研究報告が裏付ける特集は、『現代』誌ならではの企画です。

●「終戦60周年・治安維持法廃止60周年記念号」

『治安維持法と現代』 2005年春季号 好評発売中



【主な目次】 治安維持法撤廃60周年によせて(浜林正夫)、天皇元首はなにをもたらずか(葦沢忠雄)、横浜事件・再審開始によせて(増本一彦)、「特集・治安維持法の弾圧と抵抗」 治安維持法弾圧と拷問史(近江谷昭二)の他、柳瀬正夢・高橋とみ子・市川正一と佐野文夫・尹東柱・伊藤千代子・可児義雄ら犠牲者の生涯。小説・父の召集令状(小口巽) 話題を読む・私の戦争など。資料・横浜事件高裁判決(全文)。A5版・166頁、定価1000円、送料240円、各県本部でお求めください。企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

東京では、いま、子どもたちは、新学期を迎え、新しい教科書も手にして、喜びに顔を輝やかせています。これからの社会を担う子どもたちの健やかな成長を願わずにはいられません。

そういう中、文部科学省は、四月五日、来年度から使用される教科書検定で、侵略戦争を美化する歴史教科書を、前回に引き続き合格させたことに、国内外から激しい抗議と批判があがっています。

とくに、中国では、小泉内閣の靖国神社参拝問題などもからんで、「反日デモ」も繰り広げられています。正しい歴史認識にたち、平和の原則に則った解決が求められます。

問題になった教科書は、「新しい歴史教科書をつくる会」のメンバーが編集・執筆した中学歴史・公民分野の扶桑社版教科書で、太平洋戦争を「大東亜戦争」と呼ぶなど、アジアの人々への加害の事実を一切隠して、日本が戦争したのは「自存自衛のため」であり、欧米の植民地とされていた国々の「独立を促進した」かのように書いて、日本の侵略戦争を美化し、植民地支配を正当化しています。

二十一世紀を生きる子どもたちにとつて、このような内容の教科書で学ぶことは、アジアの人々との友好関係を築いていく上で、相応しいといえるでしょうか。

従軍慰安婦の問題については、国連の人権委員会からも「慰安婦」の真実を学校でも教えるよう勧告されています。しかし今回の検定では、扶桑社だけでなく他社の教科書からも「慰安婦」の用語が全

教科書検定と治安維持法の復活

松田 一男

くなくなっています。そして、南京大虐殺、強制連行の記述も大幅に少なくなっています。このことはむしろ、検定の基準・内容が扶桑社版の方向に向っているのではないかと思わざるを得ません。

教科書を手にする機会も少なくなっている日常、扶桑社の教科書は、市販本「新しい歴史教科書」として書店で目にするのがありますが、最近目立つのは同じ「新

しい歴史教科書をつくる会」のメンバーが執筆したフジサンケイグループ（産経新聞社発行、扶桑社発売）の部厚い「国民の歴史」をはじめ、「国民の道徳」「国民の思想」「国民の教育」「国民の文明史」が大型書店に平積みで大量に並べられていて目をひきます。

侵略戦争と植民地支配を反省しないこれらグループは、大日本帝國憲法や教育勅語を礼賛し、日本

國憲法と教育基本法を真向から否定する役割を担っているのではないのでしょうか。

今、小泉内閣は、有事立法、イラクの自衛隊駐留延長、憲法九条・教育基本法の改悪、教育現場では日の丸・君が代の押し付け等々、日本が戦争できる国づくりにやっきになっています。

教科書検定制度は、戦後の教育改革に伴い、従来の国家統制を反

省し国定制度を廃止してスタートしましたが、今や文科大臣に権限が集中強化されてしまっています。

教科書採択にしても、かつて各学校の教師が自主的自律的に選定して採択することから、現在、公立学校の採択は所管の教育委員会に移されてしまっています。

家永教科書訴訟に見られるように、教科書検定制度も教育の反動化の一途を辿つていきました。それは、戦争国家づくりに寄与してきたことに疑いはありません。

権力の座にすわり、社会的に高い地位にいて、反動政策を推進している人たちのルーツを辿つていくと、それは治安維持法下で、自由と民主主義を求めてたたかった先覚者を、拷問と虐殺で弾圧した内務官僚や警察畑の人脈に行き着きます。

小林多喜二らの虐殺に手を下した特高が、戦後大手をふつて政官界に復帰し、国会議員として、とくに文部官僚として反動行政を押し進め、今なお治安維持法体制の復活をたくらむ勢力にあることを告発する必要があります。

(東京都本部長)

顕彰碑

中島辰猪の碑

東京・葛飾区青砥
嵐の中を駆け抜けた医師

中島辰猪の碑

昭和初年、無産診療所が弾圧をくぐりながら各地に設立された。中島辰猪、1903頃 32・2・12

は無産診療所の医師として、この嵐の時代を駆け抜けていった。

中島辰猪は大分県宇佐郡八幡村に生まれ、9歳で父を亡くした後母の郷里・愛媛県北宇和郡立間村に移る。30年千葉医専を卒業、同愛記念病院に勤めたが、31年8月、亀有無産診療所長に就任。やがて千葉北部無産診療所に移った。

大衆性と豪快さがかね人気があった。赤い自転車に乗って小作争議や工場のストライキなどに積極的に参加し、往診カバンにはいつ



も糊とステッカーを入れておき、その途中貼ってまわったという。31年11月、江東無産診療所設立労働者娯楽大会に出席してあいさつしたが、臨席警官が命じた「中止」のあと一言か二言しゃべったため検束された。翌日釈放されて出てきたが急性虫垂炎をおこし、これがもつて多発性肝臓膿瘍を併発、同愛記念病院で手術を受けたが、効なく32年2月12日二十九歳の若さで死去した。

1965年4月、友人一同と国民救援会葛飾支部によって葛飾区青砥の法問寺に墓碑が建てられた。墓石の裏面に「先生は医療は万民のものであるという信念のもとに、労働者、農民の診療に当たると共に、無産者医療同盟を組織し、全額国庫負担による健康保険制度の確立を闘い抜いた先駆者の一人である。先生の思想は、今も脈々として守り継がれてゆく。豊よ安らかに眠れ」と刻まれている。

(S)

五年ぶりの「核拡散防止条約再検討会議」(以下NPT会議)。五月二日から二七日までニューヨーク国連本部で開かれます。

この国際会議の成功をめざして五月一日(日本時間五月二日)、二ニューヨーク一〇〇万人行動がおこなわれます。

NPTは一九七〇年国際条約として効力発生し、当初は二五年の期限立法として五のごと進行状況を確認、検討するため国際会議を開くこととしました。

時の焦点

条約の内容は、①核兵器保有国の拡大阻止 ②核兵器保有国の核軍縮への努力 ③原子力平和利用の承認の三本立てが特徴です。

条約制定当時、五力国以外地球上核兵器保有国がふえなるとする肯定的立場と、五力国の核兵器独占と軍事的優位性を保障する差別条約だとする否定論に、国際世論は二分されました。

ノーモア・ヒロシマ、核兵器廃絶を求める反核・平和の運動の立場からは、本来緊急の「核兵器廃絶国際条約」を回避するものと、

きびしく指摘されました。

日本政府はアメリカに追隨して即時調印したものの、その後六年間も批准を拒んできました。自民党内右派の「将来の核武装の自由を奪うもの」が反対理由でした。

二五年の期限立法のNPTは、核兵器独占政策を固執するアメリカの策動により、一九九五年無期限延長となりました。

NPT再検討会議

今日被爆六十年。日本の原水爆禁止運動を起点とする世界の反核平和運動は、非同盟諸国運動や新アジエンダ諸国運動となつて実を結び、核兵器廃絶国際条約制定の運動を推進しながら、国連総会と、核問題専門のNPT会議の積極的活用を重視しています。

広島、長崎両市長が中心の世界平和市民会議も、現実性のある二〇二〇年核兵器完全廃絶をよびかけています。

一方プッシュ政権は国連大使に超タカ派を任命、NPT会議の流れをもくろんでいます。

反核・平和の国際世論を結集して、NPT会議の「核拡散から核廃絶へ」転機となる成功がのぞまれます。

(元)

抵抗の群像

兇刃に倒れた

村瀬清二

和歌山県 藤澤 弘太郎



村瀬清二は生粋の江戸っ子。小学校を出て所沢陸軍航空隊に、一時台湾に派遣されたが本国に追い返され、東京下町の工場を転々。そのうち平沢計七、渡辺政之輔らの指導する南葛労働会に入会。

一九二三(大一一)年の関東大震災で組合幹部が亀戸警察署で銃殺される事件が起き、村瀬は関西にのがれ、旋盤工として織布用機械組立工場で働きました。

同じ工場にいた和歌山出身の楠山通氏が、ある日村瀬の口ッカーに「無産者新聞」を入れ、二回目の翌日、村瀬がコーヒーに誘い、「ただのネズミじゃねえって思ってたよ」「おれかてそない思ってたがな」と肝胆相てらしました。一九二八(昭三)年の三・一五大弾圧で潰された大阪地方の左翼組合再建で、和歌山の組織づくり

について、楠山氏は村瀬を推せん、村瀬は「党の方でメシの心配してもらわなくてもいいよ。おれ熟練工だから働きながらやるから」と喜んで和歌山に赴きました。

村瀬は、大谷久次、中口安吉、井口武雄、雪下健三らの活動家と協力、三カ月で和歌山労働者組合を再建、その後農民の組織にも参加、市内雑貨屋町東ノ丁の和歌山労働者組合と同一事務所にある全農和歌山県聯合会の仕事も兼任しました。

当時、全農県聯の主事山中武雄(章光)は「地主と談合して金品を受取っている」など、農民からの苦情が多く、事実を調査し、二月の大会で明らかにする調査が進められていました。

一月十六日、山中が労農合同会議を緊急招集。理由を聞かれた彼

は短刀で大谷氏に切りつけました。事態はおさめたものの、次は村瀬を襲うぞとの予測から、沖繩の仲間が護身用の十手を渡すなど警戒を強めていました。

十九日深夜、山中が不在のとこので事務所へ帰った村瀬は、門前で不意打ちを受け、同志を頼って行く途中で斃れました。

警察は事件を秘扱しました。二十一日の葬儀は、特高の監視下「赤旗の歌」がひびきました。大阪からかけつけた叔母は「清二、口惜しいだろう。だがお前は一人でない。こんなに沢山の働く人達がお前の仕事を継ぐだろう。また仇をとつてくれる」とはじめ

て涙を流して楯に叫びました。一方、山中は「共産主義者だから殺した」とそぶぎ、刑も三年、実際は一年半たらずで出所。

村瀬が暗殺されて一カ月足らずのある日、中口安吉氏が青石の自然石を雑賀崎から仲間と舟と荷車をたてました。四月、七名の代表連名でメーデー後墓地での追悼会参加をよびかけました。楠山氏は四・一六弾圧の日に特高監視の下、十数名が墓碑の除幕式を行な

つたと述べています。墓石に名前を書くの特高が削りとりました。

この事件は同年、片山潜がコミンテルン執行委員会で報告。

一九三〇年のメーデーには、特高の監視をくらし、墓碑前で、赤旗の歌を合唱、デモしました。

その一、二日後、外国武官が墓前に花束を置いて礼拝して帰りました。この人は当時、日ソ間の交換見学校として和歌山六一連隊に来ていたソ連のミハイル少佐であつたそうです。

戦後、一九四九年五月、二七名の発起人が、当時共に闘った人にカンパを訴え、文字が刻まれました。革命の戦士むらせせいじの碑、一九二九年反動の凶刃にたおる。そして裏面に「無名のまま二〇年」とあります。

一九九二年、市の墓地整備調査で閲覧した墓石台帖に、使用者中口安吉の名前はありましたが、埋葬者欄は「空白」のみでした。村瀬の墓を守る人びとの秘策、たのでしうか。七二年五月、当時共に闘った人中心に懇否会を今年七七忌に墓前祭を行いました。(県本部会長)写真・墓前祭、右端大谷氏

同盟歌壇

碓田のぼる選

千葉県 松原 勝

壇上に立てば胸つまる七十五年後の千代子を偲ぶ幾百の目に

治安維持法に苛まれし千代子なり息つめて聞く狂気の最期

〔評〕 昨年九月二十三日に開かれた。伊藤千代子没後七十五周年の集いで感慨を歌ったものである。作者の最近の歌集『暁雲』の中にすでに収められている。二首とも緊張感のある作品である。

東京都 若林 義文

梢より道に落ちきし栗鼠ひとつ動けなく居り手をかしてやる

ひと冬を無事に過ごせし目高たち春陽に姿見せて躍りぬ

〔評〕 作者の目が、こうした小動物の世界に向けられていることに、ほほえみを感じる。自然詠の目を深くすることは、他の素材に比べての詠風も豊かにしよう。二首目の「無事」に作者が浮かぶ。

静岡県 江川 佐一

この家が妻亡き同志の家なのか植木鉢おこしてピラを入れる

子を背負い通いし道の土手通りピラの配布も力となりぬ

〔評〕 第一首目は、作者のやさしい思いやりをにじませている。あれこれのリクツなしに、読者に思いが伝わってくる。二首目は、活動の日々をふり返り全員当選の喜びをじつとかみしめている。

東京都 山崎 元

春彼岸父母ありし日を夢に追う憂いし影はいくさの時代か

〔評〕 ありし日の父母を思う歌である。父も母も、いつも憂い気にしていたのは、戦争への不安であったか、と思いやっている。

書棚

『戦争違法化の時代と憲法9条』

川村俊夫著 学習の友社 (二、二〇〇円)

A5判で二〇〇ページを超す単行書なのに全篇文庫本のような小さな字で溢れるばかりの紙面。著者のたがり立つ思いがほとばしり出ています。

著者の川村俊夫さん。同盟とは懇意な一人、すでに『治安維持法と現代』誌でもおなじみです。

「憲法九条の『こころ』をどう読むか」をプロローグに、

一、なぜいま憲法九条改悪なのか

二、憲法九条の改悪は日本をどこに導くか

三、憲法九条はどのようにして生まれたか

四、戦争違法化にむけた世界の流れ

五、憲法九条はどのような道を歩んだか

六、戦争か平和かの歴史のせめぎあいのなかで

と章立てをして説きすすめ、憲法九条が世界に輝く時代」をエピローグとしています。

本書は「川村憲法論」の結晶。憲法九条のもつ戦争と平和に関する

歴史的、国際的意義について、多角的に深く掘り下げて解明されています。

「私自身としてはこの原則が決定的重要性をもつことにかんがみ、戦争放棄を新憲法第一章におきたいと考えるくらいです。」 H Q 民政局長ホイットニー

「憲法作成過程での『四六年五月毎日新聞の世論調査結果』。戦争放棄の条項について、必要あり七〇%、必要なし二八%」

こうした紹介に加えて、日米安保体制との関連や第二次世界大戦以後はもはや死語と思われた『死の商人』の、アメリカ力石油資本はじめ日本財界もふくめた湾岸戦争やイラク戦争、それに世界各地の地域紛争での暗躍など、今日の危険な内外状況とその原因を指摘しています。

川村さんはいわば文武両道。本書刊行後できた「9条の会」の事務局も担当されており、将来本書に加えて9条の会運動展開の記録も期待されます。

(元)

第9回国連要請ツアー旅程表

月日(曜)	都 市	摘 要 (宿泊地)		食 事 機 械	
8月3日 (水)	東京成田発	午前:空路ヨーロッパ内の都市で乗り継ぎスイス・ジュネーブへ 夕刻:ジュネーブ到着		機 械 X	
8月4日 (木)	ジュネーブ	午前:国連(パレナシオン)の見学 午後:国連要請行動・NGOブリーフィング(懇談会) 夕方:ジュネーブ旧市街見学(宗教改革記念碑、サンピエール大聖堂)		B X D	
8月5日 (金)	ジュネーブ	終日:国連人権委員会への要請行動または自由行動 OP1 シャモニ・モンブランへの一日旅行(ロープウェイでエギュード・ミディ展望台へ) 夜:国賠同盟主催「ジャパン・デー」		B X X 機 械	
		Aコース			
8月6日 (土)	ジュネーブ発 クラフク着	午前:空路乗り継ぎ、 ポーランドの古都クラフク へ 午後:クルクフ中心部の見学 バベル城、旧市庁舎、大 聖堂	B 機 D D D D D	ジュネーブ発 モントルー着 モントルー発 ローザンヌ着 ローザンヌ泊	B X X X X X
8月7日 (日)	アウシュビッツ ヴロツワフ着	終日:アウシュビッツ強制収容所 とマイダネク第2収容所の 見学 ヴロツワフ泊	B L D D	ローザンヌ 終日:ローザンヌ滞在 ノートルダム大聖堂、サンメル 城 オリンピック博物館 ローザンヌ泊	B X X X
8月8日 (月)	ヴロツワフ着 ドレスデン着	午前:ヴロツワフ市内見学 午後:国境を越えて、ドイツへ。 夕方:古都ドレスデンへ。 ドレスデン泊	B L D D	ローザンヌ発 ジュネーブ着 ジュネーブ泊	B X X X
8月9日 (火)	ドレスデン	終日:ドレスデンとマイセン見学 ツヴァンガー宮殿、聖母(フラウ エン)教会 マイセン磁器工房 ドレスデン泊	B L X	ジュネーブ発 午前:空路ヨーロッパ内都市で 乗り継ぎ 帰国の旅へ 機内泊	B X 機 械
8月10日 (水)	ドレスデン発 ポツダム ベルリン着	午前:ポツダムへ移動し見学 サンクスー宮殿 夕方:ベルリンへ移動 ベルリン泊	B L D D	成田空港着 午前:成田空港到着、解散	B X 機 械
8月11日 (木)	ベルリン	午前:ベルリン市内見学 ホロコースト慰霊碑、ブランデン ブルグ門 午後:博物館めぐりなど自由行 動 ケーテルビッツ美術館 ベルリン泊	B L X	「ジャパン・デー」(8月5日夜) 今回ジュネーブには3泊滞在し、国連訪問や人権 小委員会への要請行動、各国NGOとの交流を 予定しています。またジュネーブ最後の夜に、国賠 同盟主催で行なうイベント「ジャパン・デー」(4回 目)を計画しています。ツアーの参加メンバーの他、 各国NGOや国連関係者、日本から訪れているジュ ネーブ滞在中の協力者など、多くの人々を招いて のぎやかな夕食交流会です。昨年も着物姿 でご参加いただいた方や、日本の大道芸、踊りな どの披露、NGO同士の交流で大変盛況でした。 今年も楽しい企画となる様に準備を進めます。どう ぞご期待下さい。	
8月12日 (金)	ベルリン発	午前:空路ヨーロッパ内都市で 乗り継ぎ 帰国の途へ 機内泊	B X 機 械		
8月13日 (土)	成田空港着	午前:成田空港到着、解散	B 機 械		

B=朝食付、L=昼食付、D=夕食付、機=機内食 OP=オプション・ツアー(希望者参加の小旅行、別途料金)

八月三日の夕刻、レマン湖を俯瞰してジュネーブ空港に着陸、次の朝入門パツジの登録後、午前中は国連内の見学です。昼食は芝生が見晴らせるレストランで各国料理が選べます。(約八、九〇〇円) 午後ブリーフィングは一時から三時まで。昨年のテーマは「反戦平和・戦争放棄の憲法九条を守る」八月五日はシャモニ・モンブランへの一日旅行が国連要請、その

戦平和・戦争放棄の憲法九条を守る活動の広がり、改悪許さぬ日本国民の闘いに注目が集まりそうです。現地を同時通訳を頼んであります。

八月五日はシャモニ・モンブランの一日旅行が国連要請、その

後、ジャパン・デーとなります。(予定表右下参照) 昨年は九二名、十九ヶ国の参加でした。ジュネーブは国連欧州本部や赤十字など二〇〇もの国連機関が集まっています。宿泊ホテルからレマン湖まで徒歩三分、近くのコープストアは便利で風光と生活感の両方を味わえます。Bコースのローザンヌへはレマン湖とぶどう畑

ジュネーブ・NGO交流の三日間

に挟まれて列車が走ります。次号では戦後六〇周年を記念してのポーランド、ドイツの旅を紹介しましょう。

事務局日誌

4月5日 東京都本部理事会に参加。
4月6日 これって犯罪?暴走する警察・検察、ピラまきなど
4月7日 四弾圧事件合同集会参加。
4月7日 国際人権活動日本委員会に参加。
4月9日 AALLAいまの世界。
4月14日 「不届」編集委員会
4月15日 婦団連会合に参加。
4月16日 伊藤千代子生誕百年ト
ーク&コンサートに参加。
4月16日 「戦後の特高官僚」出版記念集會に参加。
4月17日 立命館大学国際平和ミ
ユージアム、安斉館長と懇談。
4月20日 亀戸事件82周年第一回
実行委員会に参加。
4月25日 ピラ配布の自由を守る
会結成総會に参加。
4月26日 ピラ配布弾圧反対集會
に参加。